

スポーツパック

取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。

⚠️ 注意

電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。**この取扱説明書をよくお読みのうえ**、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。**この取扱説明書をよくお読みのうえ**、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

SPK-LA

© 2004 Sony Corporation Printed in Japan

http://www.sony.co.jp/

eco info
この説明書は、古紙70%以上の再生紙と、VOC（揮発性有機化合物）ゼロ植物油型インキを使用しています。

必ずお読みください

- 必ず事前に、正常に動作するか、水漏れはないかを確認してください。
- 万一スポーツパックの不具合により水漏れ事故を起こした場合、内部機材（デジタルスチルカメラ、バッテリーなど）の損害、記録内容、および撮影に要した諸費用などの補償はご容赦ください。
- スポーツパックおよび内部機器に対する損害保険をご用意しております。案内書をお読みのうえ、ご加入をおすすめします。

主な特長

- 本機はソニーのデジタルスチルカメラDSC-L1専用のスポーツパックです。
- お手持ちのデジタルスチルカメラに本機を取り付けると、雨天時や海辺（水中では水深3 m以内）また雪や雨などの悪天候時での撮影ができます。

防水パックのはずれやはさみ込み、ゴミの付着があると、水中で水漏れがおきます。必ず確認したあとに、ご使用ください。

安全のために

ソニー製品は、安全に充分配慮して設計されています。しかし、まちがった使いかたをすると、火災などによる人身事故が起きるおそれがあり危険です。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

- 安全のための注意事項を守る**
- 故障したら使わずに、ソニーの相談窓口にご相談する**

変な音やにおいがしたら、煙が出たら

警告表示の意味

この取扱説明書では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなど人身事故の原因となります。

この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

下記の注意事項を守らないと、けがをすることがあります。

衝撃を与えない
ガラス部分が割れて、けがの原因となることがあります。

取り扱い上の注意

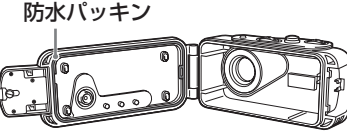
- 本体の前にあるガラス面に強い衝撃を与えないでください。割れることがあります。
- 海辺や海上でのスポーツパックの開閉はできるだけ避けてください。デジタルスチルカメラの取り付けや“メモリースティック デュオ”交換などは、湿気の少ない、潮風のあたらない場所で行ってください。
- スポーツパックを水中に投げ込まないでください。
- 波が高い場所でのご使用は避けてください。
- 次のような環境でのご使用は避けてください。
 - 高温多湿な場所
 - 40℃を越える温水の中
 - 0℃以下の場所

- スポーツパックにサンオイルなどが付着したときは、必ずぬるま湯でよく洗い流してください。付着したまま放置していると、スポーツパック表面の変色やダメージ（表面のヒビなど）の原因となります。
- 周囲温度が35℃を越えるときのご使用は、連続30分以内にしてください。
- デジタルスチルカメラを出し入れする際は、落下しないように充分ご注意ください。

防水パックの取り扱いかた

防水パックとは？

防水パックを使ってスポーツパックなどの機器の防水性を保ちます。

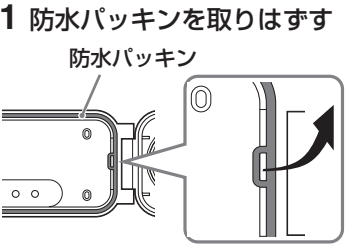


防水パックのメンテナンスは非常に重要です。正しく取り扱わないと、水漏れの原因になります。

防水パックの取り扱いかた

防水パックを取り付ける

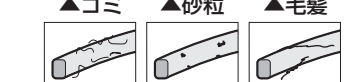
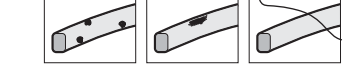
防水パックの取り付けは、砂やほこりのない場所で行ってください。



- 防水パックを取りはずすときは、図の矢印方向につまみ上げると、簡単に取りはずすことができます。防水パックを取りはずす際、爪によって防水パックを傷つけないようご注意ください。
- 先のとがったものや金属などは、スポーツパックの溝や防水パックに傷をつける恐れがありますので、使用しないでください。

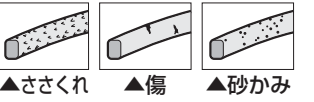
2 防水パックを点検する

- 以下の点を充分確認して、柔らかい布かティッシュペーパーで必ず取り除いてください。
 - ゴミ、砂粒、毛髪、ほこり、塩、糸くずなどが付着していないか
 - 古いグリスが残っていないか



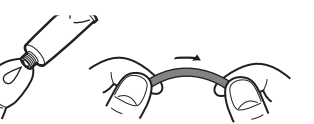
- 目に見えないゴミなどが付着していることもあるので、指先で触って点検してください。

- 防水パックを拭き取る際、布やティッシュペーパーの繊維が残らないように気をつけてください。
- 防水パックにヒビ割れ、ゆがみ、つぶれ、ささくれ、傷、砂かみなどがないか確認し、ある場合は必ず交換してください。



- 防水パックの溝を点検する
砂粒や乾いて固まった塩が入りこんでいる場合があるので、エアースプレーで吹き飛ばしたり、綿棒を使って、丁寧に取除いてください。綿棒の糸くずがはいらないように、ご注意ください。

4 防水パックの反対側の接触面も同様に点検する



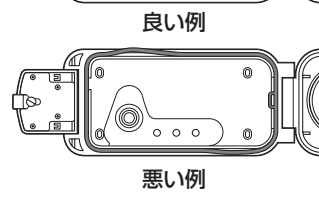
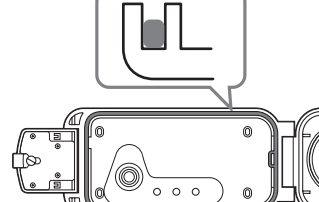
- 上の図のように防水パックに米粒大のグリスを、指の腹で全体に薄く均一に塗ってください。
- 紙や布は、繊維が付着することがあるので、使わないでください。
- 防水パックの表面には、いつも薄くグリスがついているようにしてください。グリスは防水パックを保護し、摩擦を防ぎます。
- グリスを塗り終えた防水パックは、机上などに置かずそのまま溝に取り付けてください。

6 防水パックを溝に取り付ける

以下の点に注意して、防水パックを溝に均等にに入れてください。

- 防水パックにゴミなどが付着していないか

ー防水パックがねじれていないか



水漏れの確認方法
防水パックの交換後は、ご使用の機器を収納する前に、スポーツパックを閉じて、水中（約15 cm）に約3分間沈めて、水漏れがないことを確認してください。

お手入れ

防水パックの溝に海水が入ったまま乾燥してしまうと、塩の結晶ができてしまい、防水パックの機能を損なう恐れがあります。

防水パックの耐用年数

スポーツパックの使用頻度や保存状態によって変わりますが、1年程度です。傷やヒビがなくても変形や摩擦により、防水機能は落ちてきます。ヒビ割れやゆがみ、つぶれ、ささくれ、傷、砂かみなどの症状がたら、新しいものと交換してください。

グリスについて

グリスは付属のグリスをお使いください。他社のグリスを使うと、防水パックを傷めて、水漏れます。

くもり止めリキッドについて

スポーツパック前部のガラス面に付属のくもり止めリキッドを塗布すると、くもり止め防止に効果があります。

- くもり止めリキッドの使用方法
フロントガラスのガラス面の内側に2～3滴たらして、コットン、柔らかい布、ティッシュペーパー等でクリーナー液が均等に広がるように拭いてください。

防水パック、グリス、くもり止めリキッドのお問い合わせ（ご購入について）

ソニーの相談窓口にご相談ください。

防水パック（番号2-342-990-01）
グリス（番号3-071-370-01）
くもり止めリキッド（番号3-072-039-01）

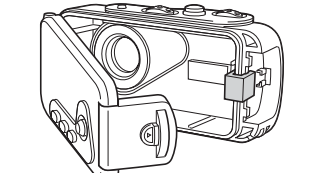
お手入れのしかた

- 海でのご使用後は、必ず、バックルをはずす前に真水（水道水など）で洗い、塩分や砂をおとしてから、乾いた柔らかい布で水分を拭き取ってください。30分程度、真水に浸しておくことをおすすめします。塩分がついたままにしておく、金属部分が傷ついたり、さびたりして、水漏れの原因になることがあります。
- サンオイルなどが付着したときは、ぬるま湯でよく洗い流してください。
- スポーツバック内部は、乾いた柔らかい布で拭き、水洗いはしないでください。

上記のお手入れはスポーツバックご使用のたびに必ず行ってください。シンナー、ベンジン、アルコールなどは表面の仕上げを傷めますので、使わないでください。

保管するときは

- 防水パックの劣化を防ぐため、お買い上げ時に付いていたスペーサーを取り付けてください。



- 防水パックの劣化を防ぐため、ボディーを閉じたあとバックルは締めないでください。
- 防水パックにホコリがつかないようにしてください。
- 高温、寒冷、多湿な場所や、ナフタリン、樟脳などを入れている場所での保管は、機材を傷めますので避けてください。

故障かな？と思ったら

修理にお出しになる前に、もう1度

点検してみましょう。それでも正常に作動しないときは、ソニーの相談窓口にご相談ください。

保証期間中の修理は
保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証書は国内に限られています
付属している保証書は、国内仕様です。外国で万一、故障、不具合が生じた場合の現地でのアフターサービスおよびその費用については、ご容赦ください。

保証期間経過後の修理は
修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。耐水圧試験および耐水圧試験に関わる修理には日数がかかります。またご要望により耐水圧試験をおこなう場合は有料となります。当社ではスポーツパックの補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を、製造打ち切り後8年間保有しています。この部品保有期間を修理可能の期間とさせていただきます。保有期間が経過したあとも、故障箇所によっては修理可能の場合がありますので、ソニーの相談窓口にご相談ください。

保証書とアフターサービス

保証書

- この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お買い上げ店でお受けとりください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保管してください。

- 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

よくあるお問い合わせ、解決方法などは http://www.sony.co.jp/support	
使い方相談窓口 フリーダイヤル……………0120-333-020 携帯電話・PHS・一部のIP電話…0466-31-2511	左記番号へ接続後、最初のガイダンスが流れている間に
修理相談窓口 フリーダイヤル……………0120-222-330 携帯電話・PHS・一部のIP電話…0466-31-2531 <small>※取扱説明書・リモコン等の購入相談はこちらへお問い合わせください。</small>	「401」＋「#」を押してください。直接、担当窓口へおつなぎします。
FAX（共通）0120-333-389 受付時間 月～金:9:00～20:00 土・日・祝日:9:00～17:00 ソニー株式会社 〒108-0075 東京都港区港南1-7-1	

準備

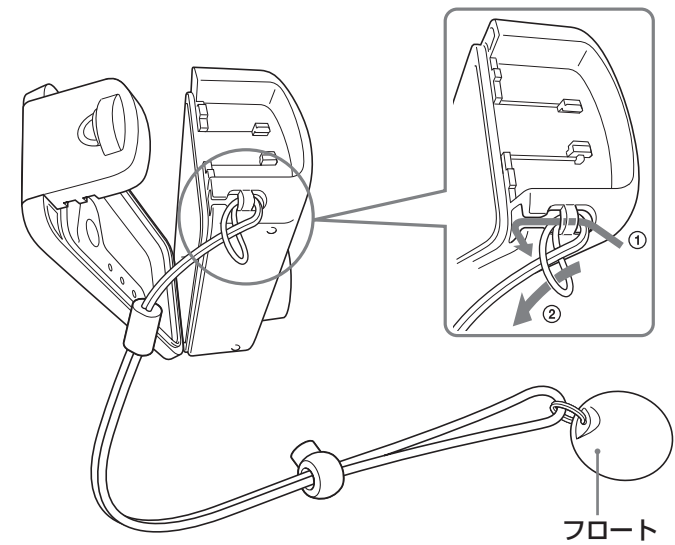
デジタルスチルカメラの準備

デジタルスチルカメラの取り付けは、湿気の少ない室内などでおこなってください。高温多湿な場所でのスポーツバックの開閉は、スポーツバックフロントガラスのくもりの原因となります。

デジタルスチルカメラの取扱説明書もあわせてご覧ください。

- 1 デジタルスチルカメラのストラップをはずす。
- 2 デジタルスチルカメラに三脚アダプターを取り付けている場合ははずす。
- 3 バッテリーを入れる。
十分に充電してあるバッテリーを入れてください。
- 4 “メモリースティック デュオ”を入れる。
- 5 デジタルスチルカメラの電源を入れる。
- 6 デジタルスチルカメラの液晶画面を「ON」にする。
- 7 デジタルスチルカメラの各設定をオートにする。
- 8 デジタルスチルカメラのAFイルミネーターを「OFF」にする。
AFイルミネーターは使用できません。
- 9 デジタルスチルカメラのレンズや液晶画面が汚れていないことを確認する。

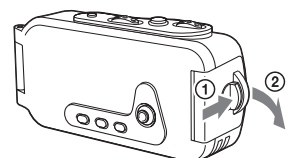
ハンドストラップを取り付ける
ご使用前に付属のハンドストラップを取り付けることをおすすめします。ハンドストラップは、ボディを開けた状態で取り付けてください。



- ご注意**
- スポーツバックのボディ開閉時に、ハンドストラップのはさみ込みにご注意ください。はさみ込むと水漏れの原因となることがあります。
 - ハンドストラップに付属しているフロートは、水中でスポーツバックの紛失を防ぐためのものです。このフロートを付けた状態でご使用ください。

デジタルスチルカメラをスポーツバックに取り付ける

- 1 デジタルスチルカメラの電源を切る。
- 2 スポーツバックを開ける。



OPENボタンを押しながら①、バックルを矢印②の方向にはずし、スポーツバックのボディを開く。

- 3 スポーツバックの準備をする。

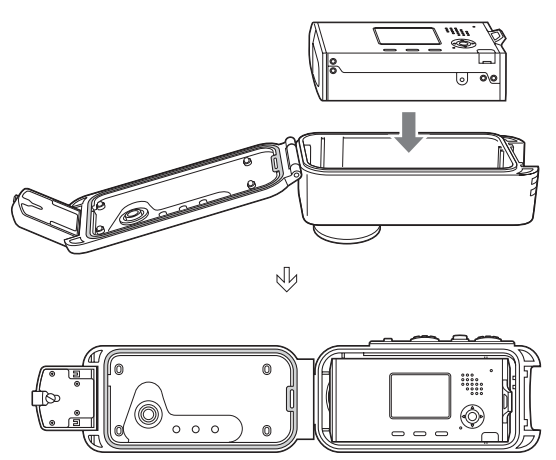
「防水パッキンの取り扱いかた」を必ずお読みください。防水パッキンのメンテナンスおよび、取り扱いについて重要な説明が書かれています。

- ① 防水パッキンを取りはずす。
- ② 防水パッキンにグリスを塗る。
防水パッキン、溝および本体との接触面の砂やゴミなどをきれいに
取り除き、防水パッキンに薄く均一にグリスを塗る。
- ③ 防水パッキンを取り付ける。

ご注意
砂やゴミが付着したままふたを閉めると、本体に傷をつけたり、水漏れの原因となることがあります。

- 4 スポーツバックにデジタルスチルカメラを取り付ける。

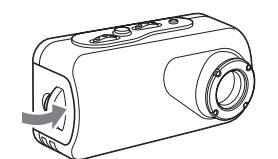
デジタルスチルカメラを出し入れするときは、必ず電源を切ってください。電源が入ったままではデジタルスチルカメラのレンズを傷つけることがあります。



デジタルスチルカメラが正しく入っているか確認してください。

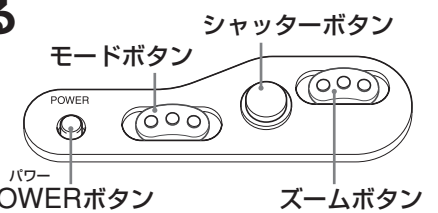
- 5 ボディを閉じて、バックルを締める。

ボディをしっかり押さえ、バックルがカチッとロックされるまで押してください。

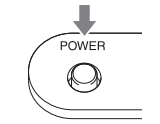


スポーツバックを使う

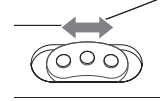
撮影する



- 1 電源を入れる。



モードボタンが正常に動くことを確認してください。



モードボタンをスライドさせると、次の順にモードが切り換わります。



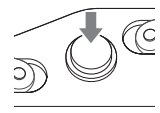
各モードについては液晶画面で確認してください。

- 2 モードボタンを希望のモードに合わせる。

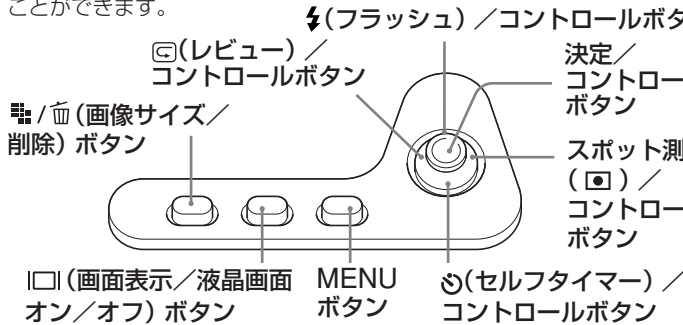
液晶画面を見ながら撮影できます。
静止画を撮影するとき…スポーツバックのモードボタンを「」にする。
動画を撮影するとき…スポーツバックのモードボタンを「」にする。
動画撮影時、音声を記録することはできません。

詳しくは、お使いのデジタルスチルカメラの取扱説明書をご覧ください。

- 3 シャッターボタンを押す。

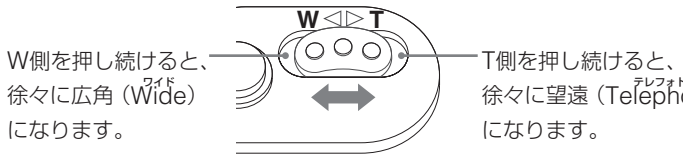


さまざまな機能を使う／設定をする
スポーツバックに収納したデジタルスチルカメラのさまざまな機能を使うことができます。



- ズームする

ズームボタンをスライドさせる。



W側を押し続けると、徐々に広角(Wide)になります。

T側を押し続けると、徐々に望遠(Telephoto)になります。

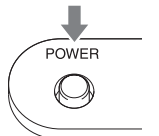
ご注意

撮影一時停止状態が3分以上続くと自動的に電源が切れます。これはバッテリーの消耗を防ぐためです。再度撮影するには、電源を入れ直してください。詳しくは、お使いのデジタルスチルカメラの取扱説明書をご覧ください。

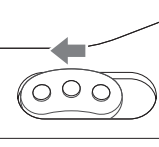
コントロールボタンを使って画像を見る

デジタルスチルカメラのコントロールボタンを使って、液晶画面で撮影した画像を見ることができます。このとき音声は聞こえません。

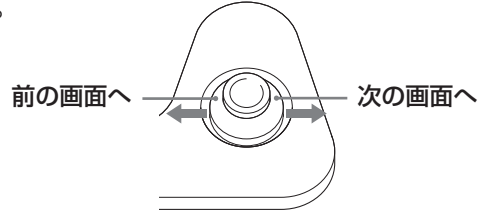
- 1 電源を入れる。



- 2 モードボタンを「」にする。



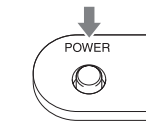
- 3 コントロールボタンを操作して、再生したい画像を選ぶ。



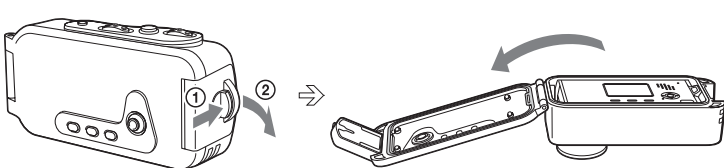
デジタルスチルカメラを取りはずす

- 1 電源を切る。

デジタルスチルカメラを出し入れするときは、必ず電源を切ってください。電源が入ったままではデジタルスチルカメラのレンズを傷つけることがあります。



- 2 スポーツバックを開ける。



- 3 デジタルスチルカメラを取り出す。

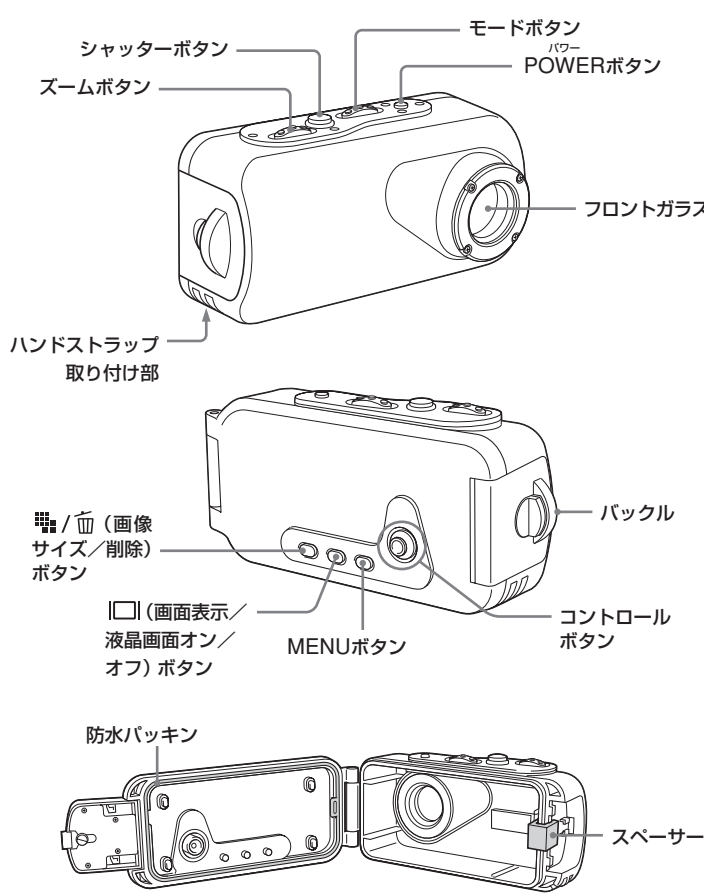
長時間ご使用になったときは、デジタルスチルカメラが熱くなります。電源を切ってからしばらく放置したあとに、デジタルスチルカメラを取り出してください。

デジタルスチルカメラを取り出すとき、落とさないようにご注意ください。

ご注意

スポーツバックを開けるときの、スポーツバックと体についた水分を十分に拭き取ってから開け、水滴が内部のデジタルスチルカメラにかからないようにしてください。

各部の名前



主な仕様

材質 プラスチック (PC、ABS)、ステンレス、ガラス	最大外形寸法 (最大突起部を除く) 133×60×49 mm (幅/高さ/奥行き)
防水構造 防水パッキン、バックル	質量 約120 g (本体のみ)
耐圧 水深3 mまで	同梱物 スポーツバック (1) ハンドストラップ (1) グリス (1) くもり止めリキッド (1) スペーサー (1) 印刷物一式
外部より操作可能なスイッチ POWER (パワー)、MODE (モード)、シャッター、ズーム、フラッシュ、マクロ、コントロール、セルフタイマー、レビュー、メニュー、画像サイズ/削除、画面表示/液晶画面オン/オフ	

仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますがご了承ください。